

早期胃癌の治療は内視鏡的粘膜切除術(EMR)や鏡視下手術の普及で多様化し、この変化に則した診断学の確立が望まれている。すなわち、正確な(あるいはより精密な)深達度診断、リンパ節転移の診断、EMR 後の遺残再発や同時・異時性多発胃癌の診断、そして診断の原点であるスクリーニング法である。今日検診で広く用いられるようになったペプシノーゲン法の有用性が八巻の論文で初めて明らかにされたと思われる。EMR の術前診断はほぼ満足するべきもので、EUS の絶対的必要性は認めないという結論も新鮮であった。国立がんセンターより多数例の m 癌、sm 癌のリ

ンパ節転移率の報告と西上論文でのリンパ節転移陽性 sm 癌の特徴は今後の治療法の選択において参考になる。リンパ節転移については慶應外科より radio-guided sentinel node navigation surgery の成績が報告されている。今日学会でもホットな討論が行われている EMR 後の再発と多発胃癌についての報告も併せ、表題の「早期胃癌診断の実態と問題点」のほぼすべてが明らかになったものとする。本号が日常臨床の指針となるとともに、今後の診断学向上の一里塚になることを希っている。

胃と腸

1 月号 (第 37 巻・第 1 号) 予 告

発売予定 1 月 25 日
定 価 (本体 2,300 円+税)

主題／食道 m3・sm1 癌の診断と遠隔成績

序 説	m3・sm1 食道癌の問題点と展望	都立駒込病院・外科	吉 田 操
主 題	食道 m3・sm1 臨床病理	大阪府立成人病センター・病理	真能 正幸・他
	食道 m3・sm1 癌の質的・量的 X 線診断	都がん検診センター・消化器科	八巻 悟郎・他
	食道 m3・sm1 癌の質的・量的内視鏡診断	都立駒込病院・内科	門馬久美子・他
	食道 m3・sm1 癌の質的・量的 EUS 診断	恵佑会札幌病院・内科	清水 勇一・他
	食道 m3・sm1 癌の治療成績—EMR と手術の長期予後	東海大・外科	幕内 博康・他
主題研究	食道 m3・sm1 癌の病態—分子生物学的特徴	鹿児島大・第 1 外科	中野 静雄・他
主題症例	食道癌 m3 (ly-) 症例でのリンパ節転移陽性、さらに根治切除術後に遠隔転移を認めた 1 例	癌研究会附属病院・外科	黒田 純子・他
	術後 6 年で頸部リンパ節再発した m3 食道表在癌の 1 例	兵庫医科大学・第 2 外科	藤原 由規・他
	EMR 後に頸部上縦隔リンパ節再発、肺転移を来した sm1 食道癌の 1 例	東海大・外科	島田 英雄・他

胃 と 腸 (第 36 巻 第 13 号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itocho @ igaku-shoin.co.jp

2001 年 12 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 (本体 2,300 円+税) (配送料 116 円)

2001 年 年々ぎめ予約購読料 33,810 円

(増刊号 5,500 円を含む 13 冊) (送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷 (株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎ (03) 3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2001, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 医学書院が保有します。
- JCLS <(株) 日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に (株) 日本著作出版権管理システム (電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199) の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ (インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当) 渡辺・阿野・永安・小松原